

2012 語り部交流会 in みやざき  
きりしまんぢだ(大地)の明日を考える～「命をつなぐ」農地、水、農村～  
結果報告

平成24年7月21日(土)、宮崎県都城市にて「語り部交流会 in みやざき」(宮崎県主催、平野啓子・農林水産省九州農政局協力)を、地元小中学生を含む約千名の参加のもと開催しました。

この「語り部交流会」は、本県北諸県(都城)地域の水田開発や農家の精神的指導に生涯を捧げた偉人たちの功績やその精神を受け継ぎ、農地・農業用施設などの整備・保全や地域づくりに取り組んでいる人々の想いを「語り」を通して広く県民に情報発信を行うことで、農業・農村の大切さと保全への理解を深めていただくことを目的に開催しました。

まず始めに、姫城地区公民館館長の橋本耕二氏に「偉人達の強い信念と郷土愛で培われた“きりしまんぢだ”への思い」という題目で、偉人らの精神や信念を当時のエピソードなどを交えて講演していただきました。

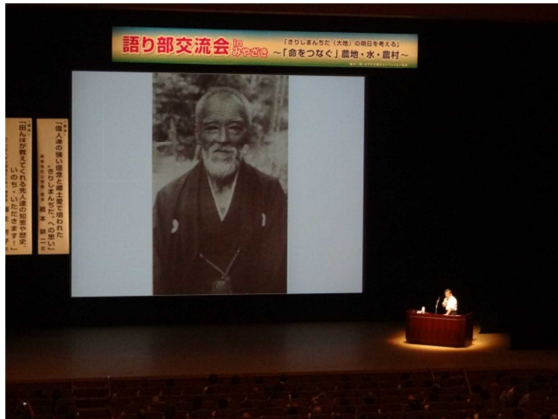
次に、NPO 法人手仕事舎そうあい理事長の蒲生芳子氏に「田んぼが教えてくれる先人達の知恵や歴史。いのち・いただきます!」という題目で、地域での様々な活動や、食育を通じた命の大切さなどを講演していただきました。

その後、語り部の平野啓子氏より「古代から続く農村のこころ」という題目で「語り」を行っていただきました。

最後に、平野氏をコーディネーターに「きりしまんぢだ(大地)の明日を考える」という題目で、語りフォーラムを行いました。語りフォーラムには講演をいただいた橋本氏、蒲生氏に加え、横市土地改良区理事長の松田時夫氏、NPO 法人正応寺ごんだの会理事長の石井和郎氏、農林水産省農村振興局次長の林田直樹氏の3人にも参加していただきました。

語りフォーラムでは、これまでの農業の礎を築いてきた先人たちの苦勞・思いを後世にどのように引き継いでいくかや、これからの農業のあり方などについて活発な意見交換が行われました。

多くの方々に参加していただき、本当にありがとうございました。



橋本館長の講演



蒲生理事長の講演



平野氏の語り



地元小学生による感想発表



語りフォーラム

